

本校は旧萩城三の丸にあり、国指定重要伝統的建造物群保存地区のほぼ中央に位置し、緑したたる指月山を指呼の間に望み、県立萩高等学校、旧藩学明倫館が隣接し、閑静にして教育的に最も恵まれた環境にある。校区は阿武川をはさんで三角州の地域（旧市内で明倫小学校区の一部）と橋本川下流域にある玉江、山田全区（白水小学校区）からなっている。校区は主として住宅地域からなるが、玉江地区はかつて遠洋延縄漁業の根拠地、山田地区は農業地域でもある。校区全体は教育熱心であり、保護者は概ね学校教育への理解もあり協力的である。

本校は、平成9年に校区改定によって開設した学校である。全校生徒369人、通常学級12学級、特別支援学級3学級（知的障害、自閉症・情緒障害、肢体不自由）からなる中規模校である。生徒は全体的に恵まれた環境に育ち、明朗で親和的であるが、やや積極的な発言や主体的な行動に欠ける面がある。また、時として周囲への配慮に欠ける言動も見受けられるなど、相手を思いやる気持ちや基本的な生活習慣が十分とはいえない生徒もいる。

学校の沿革

- H. 9 4. 1 中学校区改定により、萩市立萩西中学校として開校
初代 山根弘州校長就任
- 4. 8 開校式
- 10 5.15 初代 田中文夫PTA会長就任
- 11.19 第8回山口県中学校進路指導研究発表大会【萩】大会開催
「夢と知恵を育み、『自分探しの旅』としての進路学習をもとめて」
～一人一人の生き方を支援する進路指導の単元化～
- 11 5. 7 第2代 井町善満PTA会長就任
- 12 2.13 校碑建立
4. 「マルチメディア活用学校間連携推進事業」山口県指定（4年間）
- 13 4. 1 第2代 大嶋幸恵校長就任
4 「萩市特色ある学校づくり推進事業」指定（2年間）
- 14 4. 1 第3代 藤山光雄PTA会長就任
4. 「学力向上フロンティア事業」文部科学省指定（3年間）
「豊かな心をもち、主体的に行動できる生徒の育成」
～『確かな学力』をつけるための支援の工夫～
- 15 2. 7 平成14年度萩管内学力向上フロンティア事業地区協議会での公開授業及び研究発表
4. 1 第4代 富川芳人PTA会長就任
- 16 2.10 平成15年度萩管内学力向上フロンティア事業地区協議会での研究発表
4. 1 第3代 石橋親人校長就任
- 17 4. 1 「小中連携教育実践研究事業」山口県指定
- 18 4. 1 第5代 村谷誠PTA会長就任
- 19 4. 1 第4代 鈴木積校長就任
- 20 4. 1 第6代 山田久利PTA会長就任
- 10. 1 「学校支援地域本部事業」文部科学省指定（3年間）
- 21 3. 4 萩市立萩西中学校同窓会設立

生徒数・学級数

学年	通常学級			特別支援学級			計	
	1	2	3	知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由		
学級数	4	4	4	1	1	1	15	
生徒数	男	61	63	68	0	3	0	195
	女	52	58	60	1	1	2	174
	計	113	121	128	1	4	2	369

平成21年度教育指導計画

1 本校教育の基本構想



2 校内研修計画及び研修計画

(1) 研究主題

「確かな学力」を身に付けた生徒の育成
～「学力向上プラン」の実践と学習サポートブックの有効な活用を通して～

(2) 主題設定の理由

昨年度は「学び合い」と「人間関係づくり」に焦点をあて、研究に取り組んだ。特に、主体性を育む支援の一つとして「学習サポートブック」を制作し、その活用を各教科で研修した。その結果、生徒の授業に対する自主的な取組や家庭学習の習慣が少しずつ定着してきた。また、「人間関係づくり」として、「見島中学校との交流学习」など様々な学校活動の中で他者とふれ合う場を意図的に多く設け、経験を積ませることによってコミュニケーション能力を高めようと努力した。その結果、「他者を思いやる気持ち」や「自己表現能力」も以前に比べて高まり、「豊かな心」の育成にある程度の成果を収めてきた。

昨年度の「全国学力診断テスト」の結果から、「将来に対する目標がない」「家庭学習が定着していない」等の本校の課題が見えてきた。また、昨年度の生徒アンケートの結果から、生徒たちは「一人一人に丁寧に教えて欲しい」「分からない人への個人指導をして欲しい」など、教師の教え方に対する資質の向上を求める意見が多く上がっている。

そこで、今年度は「学力向上」を柱とし、文部科学省が定義する「確かな学力」に本校がこれまで大切にしてきた「生活習慣や学習習慣の定着」を加えたものを本校の『確かな学力』と位置づけ、生徒に身に付けさせるための工夫を研修していきたいと考えた。また、今回の研修の柱として、『学力向上プラン』の実践を行いながら、修正を行う中で、教科の指導法の工夫を取り入れながら、授業改善を行っていききたい。また、昨年度に作成した改訂版の「学習サポートブック」の有効な活用の仕方を考え、生徒たちが自主的な学習活動を行う意欲を高めていきたい。

(3) 研究仮説

生徒の生活習慣及び学習習慣を定着させ、教科の指導法を工夫しながら「学力向上プラン」を実践していくことにより、生徒たちの「確かな学力」が身に付くであろう。

「学力向上プラン」とは、

「学力の3要素」を観点にしたP D C Aサイクルの構築によって、学力を向上させていくプラン。

計画 (plan)	実行 (do)	評価 (check)	改善 (act)
「学力の3要素」	基礎的な知識・技能	知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力	学習に取り組む意欲

本校では、「学力の3要素」のうち、 と に絞って、身に付けさせていきたい。

「確かな学力」(文部科学省が求める学力)

知識・技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決していく資質や能力等までも含めたもの。

本校では、これらを支えるものとして、「生活習慣・学習習慣の定着」を大切に考え、これを含めたものを『確かな学力』と位置づける。

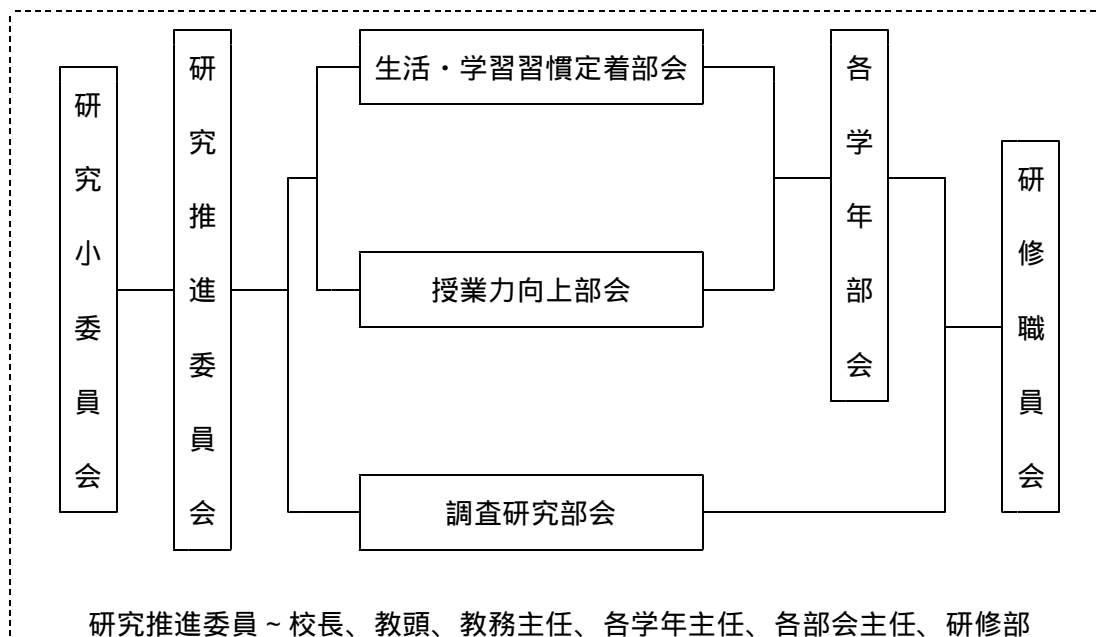
(4) 研究の方向性

各教科において、学力向上プランを立て、P D C Aサイクルによって、改善・修正を加えながら、実践していく。

生徒の視点に立った「わかる授業」を目指し、教科の指導法について研修を重ね、授業改善を図る。

【授業改善：生徒の視点に立った「わかる授業」とは】
 生徒がさらに発展的に学びたいと思えるような学び方を
 学べる場であること。
 子どもの学ぶ力を身に付けさせることができること。
 子どもの好奇心を刺激することができること。
 一人一人に行き届いたものであること。
 理解できなかった子、間違えた子がどうしてそうなっ
 たかを大切にすることができること。

生徒の実態を把握（調査）し、学習習慣を確立させるための手だて（支援）を研究する。
 （ 昨年度より引き続き、学習サポートブックの活用を図る ）
 （ 5 ） 研究組織



研究部会

生活・学習習慣定着部会

- ・ 生徒の生活習慣や学習習慣を定着させる手だてを研究する部会
 （学習サポートブックの活用の仕方を研究する）

主 山根、栗木、竹下、正司、大賀、赤木、伊藤、阿波、刀禰、岡本、徳原、杉野

授業力向上部会

わかる授業を目指し、授業力の向上を研究する部会

主 江田、安光、引地、池田、窪井、岡村、浅上、陽、長岡、中村、杉、配川

調査研究部会

ア アンケート作成部...生徒用アンケートの作成を行う。

主 引地、山根、池田、岡村、伊藤、刀禰、徳原、中村

イ アンケート集計部...生徒用アンケートの集計を行う。

主 赤木、正司、安光、浅上、陽、岡本、杉、配川

ウ アンケート分析部...生徒用アンケートの分析を行う。

主 江田、栗木、竹下、大賀、窪井、阿波、長岡、杉野

(6) 研修計画

月	研究推進計画	取 組	研修委員会・学校行事
4	生徒の実態把握 研究主題及び 研修計画の決定	研究仮説の設定と年間計画の作成	4/24 研修職員会
5	諸計画の作成	研究内容・計画の決定 ・生徒の実態把握（第1回） ・研究主題に基づいた学習の展開の工夫計画立案	5/20～22 修学旅行 5/20～21 宿泊研修
6	研究の実践	研究実践 ・各部会での実践 ・学力向上プランの見直し ・授業評価の実施と授業改善	6/10 研修職員会
7			
8	研究の推進	研究の推進 ・研修会の実施（講師招聘による研修） ・教育研究発表会とりまとめ	8/6 研修職員会 8/21 萩市学校教育 研究発表大会
9	研究の実践	研究実践 ・各部会での実践 ・研究授業 ・授業評価の実施と授業改善 ・生徒の実態把握（第2回）	9/13 体育祭
10			10/6～7 職場体験学習
11			10/31 文化祭
12			
1	研究のまとめ	今年度の研究の反省と 次年度への課題の発見 ・学習の展開の工夫の成果（生徒の変容） ・今後の課題 ・学習サポートブックの見直し ・研究のまとめ	2/10 研修職員会
2			
3			3/19 研修職員会

3 年間主要行事計画

月	主要行事	月	主要行事
4	8日 (水) 着任式、始業式、入学式 9日 (木) 給食開始 10日 (金) 新入生歓迎全校集会 16日 (木) 萩阿武中教研総会 18日 (土) 萩市春季体育大会(～19) 23日 (木) P T A 全役員会 30日 (木) P T A 総会(参観日)	10	3日 (土) 秋季県体(～4) 5日 (月) 全校集会 6日 (火) 学校訪問 7日 (水) 2年職場体験学習(～8) 10日 (土) 萩市新人体育大会(～11) 13日 (火) 教育相談(～19) 14日 (水) 見島中との交流学习(～16) 20日 (火) 萩市ロードレース大会 21日 (水) 中間テスト(～22) 31日 (土) 文化祭
5	1日 (金) 萩市相撲大会 7日 (木) 全校集会 8日 (金) 家庭訪問(～13) 16日 (土) 春季県体(～17) 20日 (水) 3年修学旅行(～22) 1年宿泊学習(～21) 21日 (木) 2年校外学習 28日 (木) 中間テスト(～29)	11	4日 (水) 全校集会 9日 (月) オープンスクール(～13) 11日 (水) 萩阿武中学校音楽会 14日 (土) 県駅伝大会 20日 (金) 生徒会役員選挙 26日 (木) 避難訓練 29日 (日) 参観日、文化講演会
6	3日 (水) 全校集会 6日 (土) 萩市夏季体育大会(～7) 13日 (土) 陸上選手権大会(～14) 選手権大会広域予選 17日 (水) 見島中との交流学习(～19) 18日 (木) 生徒総会 19日 (金) 教育相談(～25) 25日 (木) 期末テスト(～26) 26日 (金) 避難訓練(不審者)	12	1日 (火) 期末テスト(～2) 2日 (水) 全校集会 3日 (木) 3年進路相談(～4) 11日 (金) 進路指導委員会 21日 (月) 保護者懇談会(～22) 24日 (木) 終業式
7	1日 (水) 全校集会 3日 (金) P T A 地区座談会 4日 (土) 萩市夏季水泳大会 13日 (月) 1年クラスマッチ 14日 (火) 2・3年クラスマッチ 15日 (水) 保護者懇談会(～16) 17日 (金) 終業式 18日 (土) 各種選手権大会～ 29日 (水) 萩市秋季体育大会(～30)	1	8日 (金) 始業式 12日 (火) 給食開始 15日 (金) 教育相談(～19) 22日 (金) P T A 常任委員会
8	1日 (土) 萩市秋季陸上競技大会 3日 (月) 秋季県体広域予選 4日 (火) 3年進路講演会 20日 (木) 全校登校日	2	1日 (月) 3年学年末テスト(～2) 3日 (水) 全校集会 12日 (金) 新入生1日体験入学 新入生保護者説明会 19日 (金) P T A 全役員会 26日 (金) 1・2年学年末テスト(～3/1)
9	1日 (火) 始業式、給食開始 13日 (日) 体育祭	3	3日 (水) 全校集会 9日 (火) 公立高校学力検査 11日 (木) 卒業証書授与式 24日 (水) 保護者懇談会(～25) 26日 (金) 修了式

4 教育課程編成表、教科等時間配当及び生活時程

(1) 教育課程及び時間配当

区分	1学年	2学年	3学年	知的障害	自閉症・情緒障害			肢体不自由	
				3年	1年	2年	3年	1年	
必修教科	国語	140(4.0)	105(3.0)	105(3.0)	105(3.0)	140(4.0)	105(3.0)	105(3.0)	140(4.0)
	社会	105(3.0)	105(3.0)	85(2.4)	85(2.4)	105(3.0)	105(3.0)	85(2.4)	105(3.0)
	数学	140(4.0)	105(3.0)	105(3.0)	105(3.0)	140(4.0)	105(3.0)	105(3.0)	140(4.0)
	理科	105(3.0)	105(3.0)	105(3.0)	105(3.0)	105(3.0)	105(3.0)	105(3.0)	105(3.0)
	音楽	45(1.3)	35(1.0)	35(1.0)	35(1.0)	45(1.3)	35(1.0)	35(1.0)	45(1.3)
	美術	45(1.3)	35(1.0)	35(1.0)	35(1.0)	45(1.3)	35(1.0)	35(1.0)	45(1.3)
	保体	90(2.6)	90(2.6)	90(2.6)	70(2.0)	50(1.4)	70(2.0)	90(2.6)	20(0.6)
	技家	70(2.0)	70(2.0)	35(1.0)	35(1.0)	70(2.0)	70(2.0)	35(1.0)	70(2.0)
	英語	105(3.0)	105(3.0)	105(3.0)	105(3.0)	105(3.0)	105(3.0)	105(3.0)	105(3.0)
道徳	35(1.0)	35(1.0)	35(1.0)	35(1.0)	35(1.0)	35(1.0)	35(1.0)	35(1.0)	
学活	35(1.0)	35(1.0)	35(1.0)	35(1.0)	35(1.0)	35(1.0)	35(1.0)	35(1.0)	
選択教科	0	65(1.9) A:25 B:25	110(3.1) A:30 B:30 C:35	0	0	0	75(2.1)	0	
自立		D:15	D:15	130(3.7)	40(1.1)	85(2.4)	35(1.0)	70(2.0)	
総合	65(1.9)	90(2.6)	100(2.9)	100(2.9)	65(1.9)	90(2.6)	100(2.9)	65(1.9)	
	A:65 B:0	A:70 B:20	A:70 B:30	A:70 B:30	A:65 B:0	A:70 B:20	A:70 B:30	A:65 B:0	
総計	980(28)	980(28)	980(28)	980(28)	980(28)	980(28)	980(28)	980(28)	

交流学習《しづき1組》3年...音楽

《しづき2組》1年...社会, 理科, 音楽, 美術, 技術・家庭

2年...音楽 3年...全教科

《しづき3組》1年...社会, 理科, 音楽, 美術, 保健体育(保健のみ), 技術・家庭

数学科において, 2クラスを3グループに分けて少人数指導を実施

選択教科...選択A(学校選択:国語) 選択B(学校選択:理科)

選択C(生徒選択:音楽, 美術, 技術・家庭) 選択D(学校選択:保健体育)

総合的な学習の時間...A(テーマ・課題学習), B(行事を中心とした体験学習等)

1年の総合B(配当時間:0)については, 学校裁量の時間を充当

(2) 校時表・生活時程

項目 / 曜日	水	月・火・木・金
職員朝礼	8:00 ~ 8:10	8:00 ~ 8:10
遅刻限界	8:15	8:15
朝の読書	8:15 ~ 8:25	8:15 ~ 8:25
短学活	8:25 ~ 8:30	8:25 ~ 8:30
1校時	8:40 ~ 9:30	8:40 ~ 9:30
2校時	9:40 ~ 10:30	9:40 ~ 10:30
3校時	10:40 ~ 11:30	10:40 ~ 11:30
4校時	11:40 ~ 12:30	11:40 ~ 12:30
給食	12:30 ~ 13:05	12:30 ~ 13:05
休憩	13:05 ~ 13:30	13:05 ~ 13:30
5校時	13:40 ~ 14:30	13:40 ~ 14:30
6校時		14:40 ~ 15:30
清掃	14:40 ~ 14:50	15:40 ~ 15:50
短学活	15:00 ~ 15:15	16:00 ~ 16:15
一般下校	15:15	16:15
放課後	職員会議 部活動	部活動

《下校時刻》

期間	総下校
3月～9月	18:15
10月・2月	17:50
11月～1月	17:15

《諸会議・活動》

曜日	内容
第1水曜日	研究推進委員会
第1水曜日	学年部会
第2水曜日	研修職員会
第3水曜日	企画委員会
第4水曜日	月例職員会

《職員勤務時間》

8:00 ~ 16:30

(3) 日課表の編成(基本週日課・行事予定)

校時	時間	月	火	水	木	金
朝読書	10					
1校時	50					
2校時	50		学活			
3校時	50					
4校時	50	道徳				
5校時	50				総合	
6校時	50			諸会議	総合	3選C

平成22年度 萩市立萩西中学校 学校評価書

1 学校教育目標 教育目標……自主的で実践力のある心豊かなたくましい生徒の育成 中・長期目標…挨拶が飛び交う学校、清潔で美しい学校、歌声が響く学校、安心・安全な学校、開かれた学校
--

2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて) ○ 少人数指導・授業評価をいかした、指導方法の工夫・改善に引き続き取り組むとともに、家庭と連携した学習習慣づくりを行う必要は大きい。 ○ 家庭と連携し、基本的な生活習慣の定着を図るとともに、小学校との連携を密にした小中のなめらかな接続により、生徒の学校生活の安定を図るなかで、一人ひとりを大切にしたい生徒との信頼関係に基づく、規律・秩序を大切にしたい生徒指導に取り組む必要がある。 ○ 自主的に物事に取り組む、思いやりのある心豊かな生徒を育成するため、道徳授業や体験活動を充実させ多くの感動体験の場を提供する必要がある。 ○ 新たに開設された通級指導教室の円滑な運営を図るとともに、校内指導体制をより充実させていく必要がある。 ○ 地域・家庭との連携を深めることで教育活動を充実させるとともに、開かれた学校づくりを行うための情報発信を工夫する必要がある。
--

3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題 <input type="checkbox"/> 学習指導の工夫・改善に努め、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 <input type="checkbox"/> 基本的な生活習慣、秩序・規律を大切にしたい生徒指導を充実する。 <input type="checkbox"/> 道徳の授業及び体験活動を充実させ、心豊かな生徒を育成する。 <input type="checkbox"/> 校内支援体制を構築し、特別支援教育の充実を図る。 <input type="checkbox"/> 家庭・地域との信頼関係を大切にしたい開かれた学校づくりを推進する。

4 自己評価					5 学校関係者評価		
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等	評価
学習指導	学習指導の工夫・改善に努め、基礎的・基本的な知識・技能の定着	○学力向上プラン・授業評価を生かした授業改善 ○家庭と連携し、家庭学習や定期テストを活用した学習習慣の定着	○授業が「わかる」「できる」と感じる生徒の割合 4:80%以上 3:65%以上 2:50%以上 1:50%未満 ○家庭学習時間が昨年度より増加した生徒の割合 4:80%以上 3:65%以上 2:50%以上 1:50%未満	3	○「授業がわかりやすい」と答えた生徒の割合は75.7%で目標とした80%を下回っており、生徒の状況に応じた授業の工夫改善がさらに必要である。少人数指導(数学・英語)については約9割の生徒・保護者が効果を認めており実施の継続が望まれる。 ○昨年度より学習時間が増加した生徒の割合は73.1%で目標の80%を下回っており、学習意欲の低い生徒に対する対応を家庭と連携して進める必要がある。	○生徒のつまづきを、より一層わかりやすい授業作りに取り組んで欲しい。 ○職員室前に質問コーナーを設置するなど生徒が質問しやすい環境づくりに取り組んで欲しい。 ○家庭と連携し家庭学習を一層充実させて欲しい。	B
生徒指導・支援教育	基本的な生活習慣、秩序・規律を大切にしたい生徒指導の充実と校内支援体制構築による特別支援教育の充実	○自律活動の徹底(挨拶・身なりの徹底・1分前着席・黙想・無言清掃) ○定期教育相談の実施及び随時相談窓口の開設・周知	○挨拶やきまりの遵守など自律的に行動する生徒の割合 4:80%以上 3:65%以上 2:50%以上 1:50%未満 ○困った時や悩み事がある時に支援(学習支援・悩み相談等)体制が整っていると感じている生徒の割合 4:80%以上 3:65%以上 2:50%以上 1:50%未満	3	○自律的に挨拶やの遵守に取り組める生徒の割合は87.6%であり、校内生活では生徒会活動を中心に生徒の自主的な取組が定着している。校外でも積極的に取り組めるよう取組を充実させる必要がある。 ○悩み事があるときに担任・教育相談担当・スクールカウンセラー(SC)等に相談しやすいと感じている生徒の割合は66.8%にとどまっている。定期教育相談の充実やSCとの会食等相談しやすい環境づくりに取り組んでいるが、生徒にとっては十分ではなく改善が求められる。	○現在生徒は落ち着いた状態で学習や部活動に取り組んでいる。生徒の自主性を尊重しさらに意欲的な活動を引き出して欲しい。 ○定期的な相談以外にも生徒が安心して相談できる環境を整えるとともに、不登校の生徒が将来に目標がもてる指導をお願いしたい。	B

評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等	評価
健康・特別活動・安全教育	道徳の授業及び体験活動の充実による心豊かな生徒の育成	○道徳授業の確保による心の教育の充実 ○積極的・意欲的に参加できる学校行事・部活動の計画	○道徳授業の実施率 4:105%以上 3:102%以上 2:100%以上 1:100%未満 ○生徒会活動および学校行事に積極的に参加し、充実感を得ている生徒の割合 4:80%以上 3:65%以上 2:50%以上 1:50%未満	4	○道徳の授業は確実に確保されており標準時数を上回る実施が見込まれる。道徳が自分の成長に役立つと感じる生徒の割合は88.2%あり、生徒の実態や発達段階に応じた授業に取り組んでいる。 ○生徒会を中心に生徒の自主性を生かした行事の運営を心がけており、学校行事に積極的に参加し充実感を感じている生徒は94.2%と高い割合になっている。	○例年、学校行事や部活動に対する満足度は高い。心豊かでたくましい生徒を育てるためにもより一層の活動の充実を望みたい。 ○部活動については、生徒数・教員数の減少で難しい面はあるが、必要に応じて生徒のやる気や可能性を引き出す柔軟な対応をお願いしたい。	A
地域保護者連携	家庭・地域との密接な連携による信頼関係の構築と教育活動の充実	○萩西中学校支援本部事業の拡充 ○積極的な情報発信の取組の工夫・改善	○学校支援ボランティアなど外部人材・施設を活用した教職員の割合 4:80%以上 3:65%以上 2:50%以上 1:50%未満 ○各種通信・HPで学校の様子がよくわかったと感じる保護者の割合 4:80%以上 3:65%以上 2:50%以上 1:50%未満	3	○活用した教職員の割合は66.7%にとどまっており、教科・領域に取組が難しい場合もある。学校支援本部事業の終わる来年度以降の取組みが課題である。 ○学級通信を積極的に発行するクラスも多く、情報発信によって学校の様子がよく分かると答えた保護者の割合は91.3%であった。	○学校支援本部事業をコーディネートできる人材が確保できるかどうかは課題である。 ○学級通信については、他のクラスの通信も読むことができれば学年全体の動きがよく分かるのではないかと。 ○プリントが保護者に届くかは毎年の課題である。	A

6 学校評価総括(取組の成果と課題)
<p>○研修部を中心に授業改善の取り組みは進められており教員の意識は高い。特に学習意欲の低い生徒に対しては個々の状況を分析し、通級指導の活用も含めて対応を検討する必要がある。また、家庭学習については学習方法の見直しや家庭との連携方法など対策を検討する必要がある。</p> <p>○挨拶やきまりの遵守など自律的に活動する生徒の意識は高まっており、行動が日常生活に広がっていくようさらに取り組みを充実させる必要がある。生徒が安心できる相談体制づくりは、取組を工夫し相談しやすい雰囲気づくりに取り組む必要がある。</p> <p>○心の教育に充実については道徳授業の日曜参観日の実施で取組を保護者によく理解してもらうことができた。生徒の学校行事に対する評価は高くさらに生徒に任せる部分をひろげていきたい。生徒数減少の中、部活動の活性化は課題である。</p> <p>○学校支援本部事業は徐々に浸透してきた。情報発信も工夫して取り組まれているが、無理なく効果的に継続するためのしくみを工夫する必要がある。</p> <p>○業務改善については、教職員の協力体制のもと業務の効率化に取り組んでいるが、仕事の量は増加しており、多忙感を解消するような取組の工夫が求められる。</p>

7 次年度への改善策
<p>○家庭学習の充実が2年続けて目標を達成できなかったため、家庭との連携方法を含め定期テスト期間を中心に学習方法の改善に取り組む。</p> <p>○生徒・保護者の要望が高い少人数指導は、必要な教員の配置があれば英語・数学で実施する。</p> <p>○通級指導教室については、必要な情報が、必要な生徒・保護者に届くよう、情報提供の方法を工夫改善する。</p> <p>○日常的な声かけなど相談しやすい雰囲気づくりと、スクールカウンセラー活用の工夫に取り組む。</p> <p>○生徒主体の学校行事を充実させるため、生徒会活動の一層の活性化を図り、企画の段階から積極的に生徒の意見を取り入れるなど工夫する。</p> <p>○部活動の活性化につながる環境整備を検討する。</p> <p>○学校支援ボランティアを組織化し、より自主的な活動が行われる仕組みをつくる。</p> <p>○業務の見直しを行いスリム化に取り組むとともに、教職員の意識改革をすすめる。</p>

平成23年度 学校経営方針

I 学校経営の基調

1 本校教育の基底

○ 明倫館の学風

- ・ 成徳達人 ～ 心を育て、才能を伸ばす ～

○ 松陰先生の教育精神の尊重

- ・ 至誠
 - ・ 知行合一
 - ・ 師弟同行
 - ・ 個性の伸長
 - ・ 道理の実現
- ・ 至誠にして動かざる者は未だ之れあらざるなり
 - ・ 志を立ててもって万事の源となす
 - ・ 万巻の書を読むにあらざるよりはいずくんぞ千秋の人たるをえん
 - ・ 一己の労を軽んずるにあらざるよりはいずくんぞ兆民の安きをいたすをえん
 - ・ 人賢愚ありと雖も各々一己の才能なきはなし
 - ・ 凡そ生まれて人ならば宜しく人の禽獣に異なる所以を知るべし

2 象 徴

○ 校 章

- ・ 人倫を明らかにする
- ・ 三矢の訓

○ 校 歌

- ① 心を清く磨きつつ …… おおらかに
- ② からだを強くきたえつつ …… すこやかに
- ③ まことの道を究めつつ …… 輝やかに

3 教育目標

『 伝統ある明倫館の学風および松陰先生の教育精神に学び、さらに格調高き明倫教育の創造に努め、もって国家社会の形成者となる有能な人間の育成を図る。
～ 人としての生き方を学び、共に高まり合う子どもの育成 ～ 』

4 重点目標

- 広い視野から物事を判断し、進んで取り組む子どもの育成
- 礼儀をわきまえ、他を思いやる子どもの育成
- 強い意志と体力をもって、目標を達成する子どもの育成

5 児 童 像

- 自ら学ぶ子
- 心豊かな子
- 力強く生きる子

6 学年目標

- 低学年 …… (明るい明倫の子ども)
仲良く助け合い、楽しく学ぶ元気な子どもを育てる。
- 中学年 …… (がんばる明倫の子ども)
協力し合い、めあてをもって学び、最後までやりぬく子どもを育てる。
- 高学年 …… (のびゆく明倫の子ども)
互いに認め合い、主体的に学び、高め合う子どもを育てる。

7 学 校 像

- 伝統と創造の生きる学校
 - ・ 明るく秩序ある学校
 - ・ 温かい愛情と活力に満ちた学校
 - ・ 求道的・同行的实践態度のみなげる学校

8 職員の信条

- 明倫教育の伝統を踏まえ、新しい時代を見据えた教育の創造に努める。
 - ・ 明倫小の職員であることの自覚と使命感をもってことにあたる。
 - ・ 専門職として資質能力の向上をめざし、常に課題意識をもって研修に努める。
 - ・ 至誠にして礼節を重んじる。
 - ・ 常に子どもを見つめ師弟同行を実践する。

9 学校経営方針

- 伝統をふまえた創意ある教育活動の展開に努める。
 - ・ 保護者や地域社会との連携を深めて教育活動を充実させる。【開かれた学校づくり】
 - ・ 主体的に学ぶ学習活動の展開に努める。【熱く燃える心、学ぶ力や創る力の育成】
 - ・ 心豊かな感性を育む教育の推進に努める。【温かい心、生き抜く力の高揚】
 - ・ 安心安全な学校づくりを推進する。【安心・安全な学校づくり】

10 本年度の努力事項

(1) 特色ある学校づくり

① 松陰教学の推進 ～松陰先生の教育精神の尊重と実践～

- 「松陰読本」の活用、「松陰先生のことば」の朗唱により、松陰先生の生き方に学ぶとともに明るく学校生活を送ろうとする気持ちを高揚させる。
 - ・ 郷土の先覚者松陰先生に誇りをもち、郷土を愛する心を育てる。
 - ・ 松陰先生の生き方に学び、より高い自己実現への意欲を高めるようにする。
 - ・ 早朝の朗唱により、心の安定を図り、学習への意欲を高めるようにする。

② 地域・保護者との連携

- 学校の教育活動を分かりやすく情報発信することにより、地域や保護者と連携した教育活動の充実を努める。
 - ・ 計画的な情報発信を行う。

(2) 学力の向上

① 学力向上プランの推進

- 学力向上プランをもとに、組織的・計画的な指導を行う。
 - ・ 基礎学力の基盤である「読み・書き・計算」の力を高めるために、〈日常的指導〉を継続する。
 - ・ 学ぶ意欲を育てるために、どの子にも達成感等を味わわせるよう〈授業改善〉に努める。
 - ・ 学習態度を育成するために、〈家庭との連携〉を充実する。

② 授業評価を用いた授業改善

- 一人ひとりのよさを見だし学び合いに生かす学習指導を推進する。
 - ・ 互いに自分の考えを相手に正しく伝え合う力を育てる。
 - ・ 問題解決的な学習や体験的な学習を積極的に導入する。
 - ・ 各教科における言語活動の充実を図る。
 - ・ 少人数指導やTT指導、あるいは学習支援ボランティアの参加などにより、個に寄り添った授業を展開する。

(3) 心の教育の充実

① 明倫小A 元気なあいさつの推進

- 元気なあいさつができるように、組織的な働きかけを行う。
 - ・ 登下校時のあいさつが向上するために具体的な指導を行い、自主的な取組を促す。
 - ・ 登下校時のあいさつを向上させるために〈家庭との連携〉を充実する。

② 明倫小B 美しい心と美しい環境づくり

- 師弟同行による美しい環境づくりを推進する。
- いじめを絶対にしない等の美しい心の醸成に努める。

- ・ 下足をそろえる、無言掃除の実践に努める。
- ・ 校舎内外の美化、飼育栽培などの活動体験の充実に努める。
- ③ 明倫小C 進んで取り組む子どもの育成
 - 志や目標の達成に向けた実践をさせる。
 - 読書活動を推進する。
 - ・ 読書タイムの充実を図る。
 - ・ 司書教諭を中心にボランティアの協力のもと、図書室の整備と読書活動を推進する。
 - ・ 家庭と連携して「メディア漬けから読書好きへ」の転換を図る。
- (4) 安心・安全な環境づくり
 - ① いじめのない楽しい学校づくり
 - 内面化、実践化を図る道徳教育、人権教育の推進を図る。
 - ・ 人権感覚豊かで相手の気持ちが分かり、思いやりの心をもった生き方ができる子どもの育成に努める。
 - ・ 特別支援教育の推進体制を確かなものとし、校内支援委員会・学年ケース会議の充実を図り、一人ひとりの課題に応じた指導を推進する。
 - 一人ひとりの理解に徹する生徒指導を推進する。
 - ・ 心のふれあいを深め、自己実現を支援する教育相談の充実に努める。
 - ・ 問題行動の早期発見、早期指導に努める。
 - 一人ひとりのよさを生かした高まり合いのある特別活動を推進する。
 - ・ 望ましい人間関係づくり、学級づくりをめざすAFPYの実践を充実する。
 - ・ うるおいのある学校生活につながるふれあい班活動を充実する。
 - ② 安全体制の整備
 - ・ 学校のきまりやあいさつなど基本的な生活習慣の徹底と習慣化に努める。
 - ・ 交通事故防止、けが防止、被害や非行防止等の指導を徹底する。

II 学校経営の目標 ～明倫館の学風及び松陰先生の教育精神の具現化をめざす～

(第1学期) 学級づくりと信頼関係確立の学期 ～ 温かい心のふれあい ～

- ・ 温かい雰囲気 で信頼と愛情に満ちた楽しい学級をつくる。
- ・ 新しい学校生活の夢を描き、ふくらませる。
- ・ 学級、個人の目標をはっきりさせる。
- ・ 家庭、地域に働きかけ、信頼関係を高める。

(第2学期) 発展と充実の学期 ～ 感動し自己実現のある活動 ～

- ・ 一人ひとりの子どもを燃焼させる感動的な体験活動を行う。
- ・ 学習への意欲と充実感、満足感を味わわせ、共に喜び励ます教育活動を行う。
- ・ 友達としての意識を育て、高まるふれあい活動を行う。
- ・ 家庭、地域を巻き込んで教育活動を展開する。

(第3学期) 仕上げと次への発展意識を高める学期 ～ 楽しく、心に残る思い出づくり ～

- ・ 落ち着いた学級にまとめる。
- ・ 一人ひとりに成長を自覚させ、自信をもたせる。
- ・ 一年間の取り組みを反省し、努力向上する意欲を高める。
- ・ 家庭、地域への感謝の気持ちを表す。

III 学級経営の充実 ～よい環境のもとに子どもは育つ～

- (1) 自己研鑽に務め、自ら育つ教師に
- (2) 子どもたちを信じ、理解する教師に
- (3) 子どもたちの人格を大切にす教師に
- (4) 授業の質の向上に努める教師に
- (5) 子どもたちのやる気に火をつける教師に



平成23年度 萩市立明倫小学校グランドデザイン

成徳達材 松陰先生の教育精神の尊重

学校教育目標

伝統ある明倫館の学風および松陰先生の教育精神に学び、さらに格調高き明倫教育の創造に努め、もって国家社会の形成者となる有能な人間の育成を図る

人としての生き方を学び、共に高まり合う子どもの育成

めざす学校像

- 伝統と創造の生きる学校
- ・明るく秩序ある学校
- ・温かい愛情と活力に満ちた学校
- ・求道的かつ同行的実践態度のみなざる学校

めざす児童像

- 自ら学ぶ子
校歌 まことの道を究めつつ
- 心豊かな子
校歌 心を清く磨きつつ
- 力強く生きる子
校歌 からだを強くきたえつつ



学校経営方針 伝統をふまえた創意ある教育活動の展開に努める。

保護者や地域社会との連携を深めて教育活動を充実させる。

主体的に学ぶ学習活動の展開に努める。

心豊かな感性を育む教育の推進に努める。

安心安全な学校づくりを推進する。

P (Plan)

特色ある学校づくり

- 松陰教学の推進
- ・松陰読本の活用
- ・「松陰先生のことば」の朗唱
- 教育活動の分かりやすい情報発信

学力の向上

- 学力向上プランの推進
- ・日常的指導
- ・家庭との連携
- 授業評価を用いた授業改善

心の教育の充実

- 明倫小A
元気なあいさつ
- 明倫小B
美しい心と環境
- 明倫小C
目標：読書への挑戦

安心安全な環境

- いじめのない楽しい学校づくり
- ・道徳教育、人権教育
- ・生徒指導の推進
- ・特別活動の推進
- 安全体制の整備

D (Do)

教師の信条

- 明倫教育の伝統を踏まえ、新しい時代を見据えた教育の創造に努める。
- ・明倫小の教職員であることの自覚と使命感をもってことにあたる。
- ・専門職として資質能力の向上をめざし、常に課題意識をもって研修に努める。
- ・至誠にして礼節を重んじる。
- ・常に子どもを見つめ師弟同行を実践する。

C (Check)

学校評価による教育活動の改善・学校評議員会

教職員による自己評価・保護者による外部アンケート・学校関係者評価

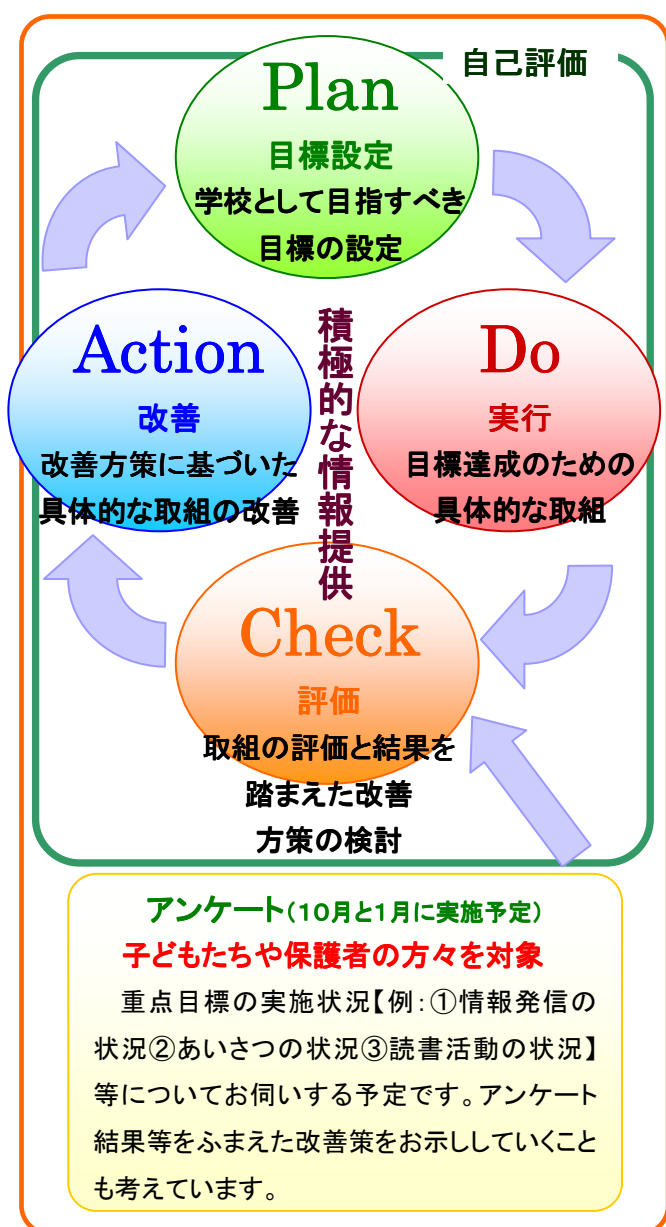
A (Action)

開かれた特色ある学校づくりを進めています

明倫小学校は、「開かれた特色ある学校」に向けて「学校評価」に取り組んでいます。

「学校評価」とは、学校や教職員、子どもたちを評価しようとするものではありません。「学校は〇〇だ」「先生は〇〇だ」と評価するのではなく、子どもたちがより良い学校生活を送れるよう、「学校の動き」そのものを評価していくものです。学校の取組の様子を保護者や地域の方に分かりやすく情報発信を行うことで、学校内外のだれもが明倫小学校の教育活動を理解し、学校にかかわる多くの人々が連携して学校運営の改善と発展を図ることを目指しています。

学校評価とは



学校評価で学校の教育活動の改善を図ります。

- 全ての教職員が目標をもって教育活動の向上に取り組めます。
- 児童生徒・保護者・地域の方々の声を大事にして教育活動の改善に取り組めます。

平成22年度 明倫小学校重点目標

○特色ある学校づくり

松陰先生の教えをもとに、萩市や明倫小学校を愛する心を育てています。
分かりやすい情報発信を行います。

○学力の向上

きめ細かな学習指導を行います。
授業改善を進めます。

○心の教育の充実(明倫小ABC)

元気なあいさつに取り組めます。
美しい心・美しい環境をつくります。
進んで取り組めます。(読書に挑戦)

○安心・安全な環境づくり

いじめのない楽しい学校を目指します。
登下校の安全体制の整備に努めます。

学校の教育活動を分かりやすくお伝えしていきます。ご家庭や地域におかれましても、元気なあいさつや読書について子どもたちへ「励ましの声かけ」をお願いします。